

泉門池

泉門池は、戦場ヶ原湿原の西端、湯滝から続くハイキングコース沿いにある湧き水の池です。池のそばにはベンチとテーブルが設置されており、道が森から広々とした湿地帯に入るこの地点で休憩することができます。この池は、湿地が徐々に乾いた土地に変わり、やがて森林へと移行する遷移帯の一部です。枯れ木や朽ち木が見られる一方で、池の水は驚くほど澄んでおり、年間を通じてこの池を棲み家としているマガモにとって好適な生息地となっています。

この池からは、湿原の向こうにそびえる男体山（2,486m）の見事な景色が望め、特に秋の紅葉が散った後には山容がよく見えます。また、泉門池は、周辺一帯に生えているスゲ植物の mounds（盛り上がり）という珍しい自然現象でも知られています。この盛り上がりは、スゲ植物の株を残して土壌が浸食されたことによってできたもので、まるで人の頭ほどの大きさをした塊が地面から突き出ているように見えます。この盛り上がりは、仏僧の剃髪した頭に似ていることから、親しみを込めて「ヤチボウズ（marshland monks）」と呼ばれています。この池は、絵のように美しい風景とユニークな特徴により、このハイキングコースを歩く自然愛好家やハイカーたちに人気のスポットとなっています。